

■ 地域の人、文化、自然に学ぶ学校づくり（草津中学校）

1 【活動の趣旨】

学校と地域・家庭が連携して子どもたちの学びをよりよく豊かなものにするとともに、地域の人や文化、生活環境に関わることで、そのよさを知り、地域の課題を見付け、解決に向けて貢献しようとする生徒たちの育成を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

○福祉体験学習

「共生社会」をテーマに、障害の有無や年齢、性別、国籍など、様々な違いのある人々が対等な立場で互いに尊重し合い、多様な形で参画・貢献できる社会について考えた。講師として、特別養護老人ホームの施設長、理学療法士、看護師、介護士など、様々な立場の方から講話を聞き、福祉体験学習を実施していただいた。また、車椅子バスケットボール選手を講師に迎え、講話を聞くとともに、実際に生徒も体験できたことで、すべての人の尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送れる社会の実現を目指そうとする意識を持てた。



【車椅子バスケットボール】

○「学校図書館ボランティア」

生徒会図書委員会とタイアップした日常的な開館や読書習慣のきっかけとなる各種イベントの開催等、魅力ある学校図書館の運営と新旧図書の更新やお勧め図書の紹介をしていただいた。

○「書写教室」

講師をお招きし、専門的な書写指導をしていただいた。今年度も全学年で実施することができた。



【書写教室】

3 【実施に当たっての工夫】

目的と生徒の身に付けたい力を見通し、講師との事前打ち合わせを複数回実施した。特に今年度は、学校外人材との協働・連携をスムーズに進められた。

4 【事業の成果】

地域社会の中で生き、包まれていることを生徒たちが実感し、よりよいまちづくりに向けて自分たちには何ができるのかを考える学習機会を持つことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

新しい事業の実施ならびに既存事業の充実に向けて、総合学習や教科学習と教科横断的なカリキュラムを構築した。全教職員の共通理解を図り、地域人材との連携をより緊密にしていきたい。